

東員議会だより



町政を問う（一般質問） 8

・ 決算を認定 2

・ 委員会レポート 18

・ 傍聴者の声 19

117号

平成25年10月18日発行

9月定例会

発行 三重県東員町議会

しくチェック

9月定例議会

9月定例会は、5日から25日までの会期で開かれました。平成24年度決算認定、平成25年度一般会計補正予算・国民健康保険特別会計補正予算・介護保険特別会計補正予算・下水道事業特別会計補正予算、教育委員の任命のほか、請願、意見書など、認定6件と議案5件、請願4件、発議5件が提出され、慎重な審議を行い、全会一致、一部賛成多数で原案どおり、認定・可決されました。

平成24年度の一般会計決算は、歳入79億3,810万円、歳出73億9,923万円で、歳入歳出差引額5億3,887万円から翌年度繰越額1,426万円を差し引いた、実質収支額は5億2,461万円の黒字となりました。

～主に使われた事業～

- ・庁舎など改修工事 9,119万円
(庁舎駐車場拡張工事、バリアフリー改修工事、照明工事)
- ・小学校施設整備費 4,077万円
(稲部・笹尾東小学校屋上防水改修工事ほか)
- ・いなべ保育園園舎増築工事 6,279万円
- ・中部公園管理棟改修工事(売店) 328万円

主な質疑

問(南部武委員) 入札価格があるにもかかわらず、4つすべての工事において、追加工事として勝手に増額しています。本来補正予算を組まなければいけないと思いますが、このような契約は許されるのですか。

のようなことがないよう徹底していきたいと思えます。

問(近藤敏委員) 情報公開で、積算資料を求め

る件数が増えていますが、入札に参加した業者が増えたのが原因なのですか。今までは資料を必要としていなかった人が取りに来たという状況がありますか。

です。

答(総務課係長) 業者

が設計書を見て入札の参考にするという傾向が強くなってきたということであると推測します。

予算内で執行するためにしました。あまり方法としてはよくないので、こ

財政を厳



問（南部豊委員） 防災資機材で、自治会防災倉庫備品装備として毛布があります。全自治会の防災倉庫の毛布はどのようになっていますか。

答（危機管理課長） 自治会防災倉庫備品の毛布460枚で、1自治会20枚です。また、2070枚を役場と笹尾西小学校に備蓄をしています。

問（大崎委員） 不納欠損116件の内容について伺います。

答（税務課長） 事業不振や破産11件、相続人なし2件、生活保護者1件、国外転出は非常に多く90件ほどです。そのほか所在不明などです。

問（南部武委員） 肺炎球菌ワクチン接種費用助成金61万5千円は予算が472万5千円で不用額が大きいとその要因を伺います。

答（健康づくり係長） 肺炎球菌ワクチンは個別

案内をしています。1生に1回だけの助成ということもあり、新たに65歳になる方は打たれる事もありますが、当初の見込みよりも大幅に少なくなっています。

問（種村委員） 道路台帳修正委託事業費で346万5千円ですが、道路台帳は頻繁に変更するものですか。

答（建設課長） 年度ごとに行事などを行った箇所の修正業務が必要となり、毎年その調査委託に対して払っています。また、延長などにより多少金額が変わります。

問（近藤敏委員） 給食の業者や、配送の業者が変わりました。今後の検証が必要です。現時点で弊害などの問題は出ていませんか。

答（教育総務課長） 非常に清潔になったと思います。野菜の切り方でも調理によって工夫され、

味がよく付くと4月以降の給食では聞いています。配送業務は車の維持管理も任せており、故障やトラブルなどにも、自社工場ですぐに対応しています。

問（川瀬委員） 準要保護認定生徒数が5人で昨年比13人増ですが、内容を伺います。

答（学校教育課長） 申請を受けて認定作業をしますが、増えた要因の大きな理由はひとり親家庭が増えているということです。小学校は98人で約7割がひとりの親家庭です。



整備された駐車場

平成24年度特別会計・企業会計決算の状況は

国民健康保険	収入額は前年度比5.8%増の28億3,914万円で支出額は7.6%増の26億9,970万円、収支差引1億3,944万円の黒字です。主に保険給付費が前年度比4.8%増の18億1,158万円となっており、高齢化や医療技術の高度化に伴う医療費の増加が原因です。
後期高齢者医療	全市町で構成する三重県後期高齢者医療広域連合により、運営されているもので加入者は2,302人です。収入額1億8,093万円に対し、支出額は1億7,761万円と収支差引332万円の黒字です。
介護保険	居宅介護、地域密着型介護、施設介護サービスなど安心して自立した生活をしていくための事業に取り組んでおり、収入額は前年度対比で8%増の13億639万円、支出額は同4.4%増の11億9,537万円と収支差引1億1,102万円の黒字です。
下水道事業	収入は前年度に比べ7.2%増の8億1,152万円で支出も前年度と比較して4.6%増の7億3,718万円で収支差引7,434万円の黒字となりました。
上水道事業	給水状況は、年間配水量が312万445m ³ で、1日平均の配水量は8,549m ³ でした。収支差引の結果、平成24年度は1,187万円の黒字となりました。

後期高齢者医療

問（大崎委員） 滞納して亡くなった方からも徴収するのですか。

答（保険年金係長） 納付義務は遺族に相続されるので、支払方法など相談をしています。

国民健康保険

問（大崎委員） 保険料の滞納者に対して差し押さえをする際の問題はありませんか。

答（健康保険課副参事） その家庭の生活も考えて、差し押さえてもいいかを検討しています。

反対討論（上原議員）

後期高齢者医療制度は、年齢を区分し別枠の医療制度にしたもので、ほとんど収入がないに等しくても、均等割の3万9120円か、軽減が出来たとしても自分の負担を払わなければならない制度です。

平成24年度は保険料の値上がりがあり、払えない人が増え、滞納率は前年度より低くはなりましたが、短期保険証が2件増えました。

よって、平成24年度東員町後期高齢者医療特別会計決算認定に反対します。

賛成討論（鷲田議員）

保険料については、加入者全体の所得などを基準として平等に課税が行われています。

また、保険料支払いが困難な加入者については適切な指導を行い、未納者の解消に努めています。以上のことから平成24年度東員町後期高齢者医療特別会計決算認定に賛成します。

介護保険

問（大崎委員） 年金が18万円以下の普通徴収は何人ですか。

答（長寿福祉課長） 賦課時点で223人です。

問（大崎委員） 基本チェックリストが5744件中、790件返ってきていないとのことですが、どのようですか。

答（長寿福祉課長） 昨年度より104件多く回収することができました。

反対討論（大崎議員）

介護保険料が改定され、基準額では年間5万6245円となり、前年度より年間7124円の値上がりとなり、低所得者には重い保険料となっています。収入に見合った介護保険料にすべきです。

介護給付費の伸びを抑えるための予防事業の充実、高齢者施策の充実、また通所介護型予防事業（いきいきサロン）の拡大を求めて、反対討論とします。

賛成討論（種村議員）

介護保険の保険料は、低所得者層への配慮から保険料を11段階に細分化しています。この義務を果たすことが公平と考え賛成します。

下水道事業

上水道事業

問（島田委員） 前年度と比較して、460万円増収していますが、新しい企業が増えたのですか。

答（上下水道課長） 既存企業の汚水排水量が増えて増収になりました。

問（南部豊委員） 下水道の布設工事が行われていますが、どれくらい整備が完了していますか。

答（上下水道課長） 整備についてはほとんど終わっている状況です。ただし、新築された分について現在整備を行っています。

問（南部豊委員） 今年度は剰余金処分について議案として提出されていないのはなぜですか。

答（上下水道課長） 平成26年度に公営企業法の改正があり、こちらを見越し引当金などの増加も考えられます。本年度は利益剰余金として会計内に保留し、26年度の対応に回っていきます。

問（南部豊委員） 水道料金の今後の値上げについて、現時点でどのように考えていますか。

答（建設部長） 施設の長寿命化も兼ねて整備をしていく中で、財源は必要となります。計画によっては財源を確保しなければならぬ部分もありますので、値上げに影響していくと思います。

東員町議会 議員研修会を開催

東員町議会では、東員町議会議員を対象に、7月29日名古屋大学減災連携研究センター長・教授 福和伸夫氏による「防災・減災について」の研修会を開催しました。

研修では、家具転倒防止、耐震化を再認識し、また、豊富な水資源を活かし、災害時には周辺地域を救済するなどアドバイスをいただきました。



一般会計 補正予算

要保護児童支援の巡回車両購入や風しんワクチン接種助成金、塵芥処理経費、笹尾コミュニティセンター経費、給食センター維持管理経費などの補正予算1109万9千円を全会一致で賛成し、予算総額は71億3500万6千円となりました。

質疑

問（鷲田委員） 笹尾コミュニティセンターの防犯カメラの設置目的はなんですか。

答（社会教育課長）

自動交付機を午後4時から午後8時に延長しました。また、管理人1人で対応していますので防犯上必要と考えます。

問（鷲田委員） 笹尾コミュニティセンター

の防犯カメラなど総額で174万2千円は高額だと思いますが、どのような見積もりですか。
答（社会教育課長補佐） 設計業者と相談しての見積もりです。設置工事を含めての金額です。

問（南部武委員） 給食

センターの維持管理経費ですが、昨年度も433万円の補正をしています。今年もまた、290万円の補正が出る理由を伺います。

答（教育総務課長） 当

初予算の編成時には不具合の現象が出ていなかったこともあり、100万円を置き予算としました。

特別会計 補正予算

介護保険

既定予算に歳入歳出103万9千円を増額補正し、予算総額を14億4543万9千円とするものです。

歳出では、前年度支払基金交付金の精算に伴う返還金と社会福祉協議会への委託事業などの精算による一般会計への繰出金を計上し、歳入では、諸収入として社会福祉協議会事業の精算金を計上し、不足する財源は前年度繰越金を充当し収支の均衡を図ります。

国民健康保険

既定予算に歳入歳出988万円を増額補正し、予算総額を27億5258万円とするものです。

歳出では、諸支出金として前年度療養給付費交付金の精算に伴う返還金を計上し、歳入では、前年度繰越金を充当し収支の均衡を図ります。

下水道事業

既定予算に歳入歳出104万7千円を増額補正し、予算総額を7億6874万7千円とするものです。

歳出では、臨時職員雇用に係る経費を計上し、歳入では、前年度繰越金を充当し収支の均衡を図ります。

主な質疑

問（川瀬委員） 臨時職員雇用にあたっての経緯

と理由について伺います。
答（上下水道課長） 下

水道事業の耐震化、総合整備事業など新規事業があり、マンホールポンプの故障対応で休みなく仕事をしています。業務負担軽減のために事務補佐の臨時職員採用をします。

各議員の賛否

平成25年9月定例会

議案、発議の審議結果です。賛否の分かれた議案のみの表示です。ほかの議案は全会一致で賛成しました。

審議結果	議案名	議員名													
		近藤治隆	近藤敏彦	島田正彦	南部豊	種村博行	上原君代	鷺田昭男	川瀬孝代	木村宗朝	藤田興一	南部武司	伊藤守一	山本陽一郎	大崎潤子
可	平成24年度東員町後期高齢者医療特別会計決算認定について	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×
可	平成24年度東員町介護保険特別会計決算認定について	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×
可	道州制導入に断固反対する意見書	×	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○
可	保護者負担の軽減と就学・修学支援に関わる制度の拡充を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○

議長は採決に加わらない。○は賛成、×は反対

議会から意見書を提出しました

◆ 道州制導入に断固反対する意見書

道州はもとより再編された「基礎自治体」は、現在の市町村や都道府県に比べ、住民と行政との距離が格段に遠くなり、住民自治が衰退してしまうことは明らかである。多様な自治体の存在を認め、個々の自治体の活力を高めることが、全体としての国力の増強につながるものであると確信し、我々東員町議会は、道州制の導入に断固反対する。（一部抜粋）

東員町議会より上記意見書を提出しました。

監査委員の決算審査意見

- * 一般会計の決算額は、前年度と比較して、歳入で4.8%、歳出で5.0%増の決算規模となった。実質収支額は5億2,461万円の黒字、単年度収支は2,081万円の黒字、実質単年度収支も2,232万円の黒字になっている。
- * 本町の財政運営を財政指標でみると、財政力指数は0.731で前年度より、0.03ポイント低下している。経常収支比率は81.8%で前年度より2.2%向上した。更に、実質公債費比率については5.7%となっている。
- * 公共交通をはじめ、ごみ処理問題、各種補助金、施設管理など、本町が将来に抱える諸問題も多く、今後の経済状況が一層厳しくなる中で、それぞれの立場で日常業務を振り返り、自主財源の確保と限られた財源で、住民の信頼と期待に応えられるための創意工夫をし、最小の経費で最大の効果が得られるよう、なお一層の努力をされたい。（監査の意見書から抜粋）

健康マイレージの取り組みは 自己管理に努め対応します



川瀬孝代



健康管理が大事

健康診断の受診やスポーツ活動、地域行事への参加などチャレンジをしてポイントを貯め、特典を利用できる「健康マイレージ」の取り組みがあります。健診の受診率を上げたり、健康づくりに励むことで医療費や介護費の抑制につながったり、地域コミュニティや地域経済の活性化など、まちづくりや人づくりが期待できる施策です。地域の特性を踏まえて取り組みをしてはごうですか。

生活福祉部長 急速な高齢化を迎え「自分の健康は自分で守る」ことを基本に、健康ハロメーターの意識の醸成を高めることで自らの意思で生活習慣の改善に取り組むことが重要と考えます。生活習慣病予防の普及啓発のための講座や運動教室の開催、健診の受診勧奨など保健指導に努め、自ら健康に関心を持ち、自己管理に努めていただくことの取り組みを強化していきます。

災害時要援護者の避難対策は

災害時要援護者の名簿作成を義務付ける「改正災害対策基本法」が成立しました。名簿は本人の同意を得た上で、消防や民生委員など関係機関に情報提供しますが、災害発生時には同意がなくても、個人情報を提供できます。名簿の整備、共有は避難支援を進めるための一歩です。支援の取り組みは自治体の準備にかかってきます。

要援護者名簿作成の義務化の整備・収集した名簿の取り扱い・防災訓練への取り組み・防災マニュアルの策定、また福祉避難所の設置・福祉施設との連携はどのように考えていますか。

総務部長 自力で避難することが困難な高齢者の方、障がいのある方は地域で助け合い避難する仕組みを構築する必要があります。名簿を作成し自治会長、民生委員、福

祉部門と危機管理課に配備しました。避難支援担当の方の選任をお願いしています。要援護者の個人情報と地図情報を電算化し、避難行動に対応した防災計画、防災マニュアルの改正をします。

防災訓練では、社会福祉協議会と民生委員が連携して要援護者の状況確認訓練を実施しました。避難訓練の一環として、

支援者が援護者のもとを訪ねる「安否確認訓練」を実施していくことを考えています。福祉避難所は、指定の避難所に福祉避難コーナーを設ける対策を講じていきます。



訓練が大切です



大崎潤子



RDFは廃止になります

減量をして『新ごみ処理施設建設を』

意思の疎通を図ります

日本共産党は、RDF化発電の計画段階から危険性を指摘しました。

稼働直後から発熱するなどの危険状況があり、平成15年8月には、消防士が殉職する大事故を引き起こしました。

県は「夢の発電」と言い切って導入し、市町を取り込みました。ここに至って、発電単価は予想通り伸びず、採算が取れないことから事業終了を告げましたが、県の責任は重大です。

新ごみ処理施設建設に向かつて、次の取り組みを求めます。

新ごみ処理施設は、日量200t、事業費110億円程度となつていますが、大きな炉を作れば費用も掛かります。ごみ減量を図り施設能力を下げれば建設費も減らせますが、どのように決めていきますか。

桑名広域として減量目標を明確にし、全体で取り組むことです。「要望があれば出向く」

という姿勢ではなく、積極的に住民とかかわる姿勢を示すべきです。

ごみに対する住民の意識を高めるために、分別されたごみがどこへどう運ばれて、再資源化されていくのかなど、町民に正確な情報提供を行う取り組みを求めます。

町長 三重県は、施設の耐用年数や処理委託費を含めた費用対効果などを検討した結果、平成32年度末で事業から撤退すると表明しました。町民が納得できる説明責任を果たすよう、県に求めていきます。

「ごみ処理のあり方調査検討委員会」でごみ減量化を図ることや、災害発生時のごみ処理能力などを考慮し、コンパクトになるよう桑名広域内で意思疎通を図ります。ごみ減量への関心が高まるよう、啓発や説明会に出向いて周知を図ります。

減災対策の充実を求める

災害時被害を減らすためには、減災対策として事前予防が大切です。家を耐震構造にしたり、家具転倒防止策や窓ガラスにフィルムを貼るなど、住民の命を守る取り組みへの周知は、どこまで進んでいますか。

総務部長 減災対策は避難場所である各小・中学校体育館の飛散防止フィルムの設置を完了しまし



避難所を安全に

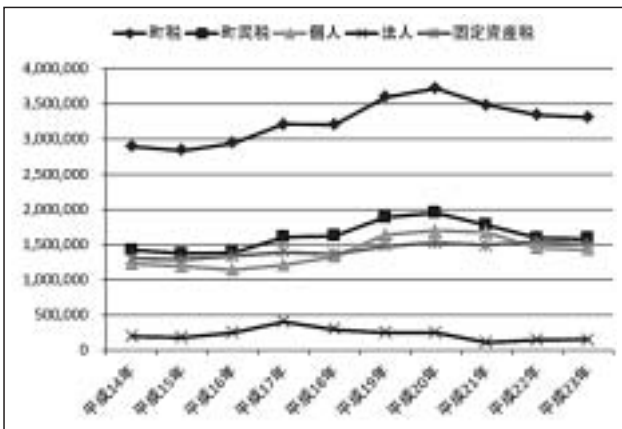
た。各家庭の状況を知ることでも大切で、講習会などでアンケートを取ります。



近藤治隆

東員町の財政は

歳出の見直しを進めます



昨年も質問しましたが、今後の東員町は財政が緊迫していくのは火を見るより明らかです。どのような見通しで、どのような計画ですか。

再質問(一問一答)

この5年あまりで、削

減した内容はどれほどあるのか伺います。

総務部長 職員数210名を200名に削減、前納報奨金約440万円、陸上競技場管理運営の見直しで約700万円、委託料の一括発注で約300万円などの削減をしています。

削減されているのは分かりましたが、削減されたお金はどこに使われているのでしょうか。

総務部長 削減額はな

に当てたわけではなく、一般財源化しています。町民感情から言いますと、基金に積み立てたのであれば、削減と言えませんが、同じ予算を使っているのであれば、使い道を変えただけで、削減と言えないのではないのでしょうか。

総務部長 予算の執行については見直しを行い、必要なところに必要な予算を付けているということと理解していただきたいと思っています。

上下水道特別会計で減価償却の部分が積み立てられていませんが、なぜですか。

建設部長 減価償却の積み立てはしてないわけではなく、資金の使用方法に問題があると思っています。減価償却分は補修などで使っており、現状では15億ほど減価償却分が不足しております。

今の水道代は安くて嬉しいのですが、その中でも

孫の世代には、今の代償

を払わせることになりま。同僚議員が「孫に年金から1万円の小遣いをあげるといことは、実は孫のお金を孫にあげている」と言っていました。今回の上下水道も同じことが言えるのではないかと思います。上下水道が正常な状態にするにはいくらまで値上げするべきなのでしょうか。

建設部長 耐震化なども考慮にいれる必要があります。今すぐには返答できません。

※ ほかに電算システムについて質問しました。



おいしい水を取水しています



近藤敏彦



通学の安全確保

イオン開店への取り組みは 調整会議で対応しています

イオンモール東員のオープンまで3カ月を切ってきましたが、受け入れ側の町の対応として、通学路や渋滞の緩和措置など万全を期していますか。

建設部長 関係機関が意見交換をして課題を少しでも解決し、支援協力ができるようイオン側にも参加をしてもらい、「イオンモール東員環境保全対策調整会議」を立ち上げて調整を図ってきました。現在イオンが交通計画を作成中です。

再質問（一問一答）

いろいろな問題を迅速に、的確に解決していくためにさまざまな関係部署をまたいだ形で「イオン対策室」のような組織を作ってはどうかですか。

副町長 建設部に指示をして調整会議を立ち上げました。現在は政策課が窓口となって進めています。

現在の通学路を含めた道路を町道に認定することができなくなったという問題ができてきて、この

道路はイオンの借地であり、そこを通っての通学が事実上不可能になったことを受けて、関係している児童の保護者を緊急招集して協議をしたところ、スクールバスの運行を希望することになりました。オープンに間に合わないことも勘案して、最低でもオープン後の過熱した時期だけでも、町が保有する中型バスなどで送迎を希望することを決定しましたがいかがですか。

町長 早急に検討をします。

有害鳥獣駆除対策は

ネオポリスの山間部にサルが多く出没しています。鹿を見た、イノシシの足跡があったなど、私たちの生活範囲のすぐそばまで有害鳥獣が迫ってきているようですが、対策はどうされていますか。

建設部長 本年はそれらの出没、苦情などの通報はありませんが、昨年



はサルの目撃通報が13件ありました。住宅周辺に出没した場合は広報車などによる注意の喚起を行います。

更生保護について

更生保護に協力する企業に対しての入札での優遇措置や保護観察処分になった人を自治体が受け入れる考えはありますか。

総務部長 それらの制度を導入している自治体の実情や県内の動向を見て研究します。また、更生保護に協力していただける雇用主を増やすためにも広報などでPRをします。

地域防災計画の見直しは 避難所表示看板を整備しました



木村宗朝



避難場所を知っていますか

避難所が住民に理解されていますか。避難所の耐震性、落下物は大丈夫ですか。飲料水はどのようになっていますか。

総務部長 避難場所が分かりやすいように黄色の地下に黒文字とイラストがはいた大型の避難所表示看板を69カ所整備しましたが、避難所への避難ルート把握は、各地区での避難訓練などを繰り返し実施することが重要と考えています。避難所は耐震基準を満

たしていますし、吊天井などの構造にはなっていません。今年度はより安全性を高めるため飛散防止フィルムの設置、腐食している体育館軒天の改修工事を実施しました。飲料水は、100tの耐震性貯水槽を3基設置しており、一人1日3ℓが必要となる発災直後では全町民分の3・8日分を貯蔵しています。

再質問(一問一答)

井戸水を使用している

家は何軒ありますか。減免などを考え、協力していただけるようなことはできないでしょうか。

総務部長 173軒です。有事の際は、井戸水は貴重です。近隣の住民のために提供していただけるなら仕組みを作りたいと考えています。

定住自立圏の成果は

いなべ市との定住自立圏形成協定を結んで、成果はありましたか。先進地などの参考になるようなものはありますか。

副町長 策定後、まだ3年ですので、目に見えた形の成果はありません。先進地事例として「広域観光事業の推進」「観光・地域情報の発信」「鳥獣被害防止対策」「農産物のブランド化」「メール配信による圏域情報の共有」「学校給食への地元特産物の活用」といった事業があります。また、共生ビジョン懇談会でも

いなべ市との定住自立圏形成協定を結んで、成果はありましたか。先進地などの参考になるようなものはありますか。



相互利用で安価に

再質問(一問一答)

文化施設、体育施設の相互利用の推進は良い施策であると思いますが、その考えはありますか。

副町長 本町の公共施設は、町内・町外の方で、使用料が異なりますが、事業のメニューに加えることにより、圏域内の市民に、使用料の差異はなくなり、同一料金で施設使用も可能と考えます。

※ ほかに自動車取得税、まちづくり予算の質問をしました。



南部 豊

新焼却施設建設費は

19億5千万円の負担予定

平成33年度以降のごみ処理の方向性を伺います。

町長 三重県のRDF事業が平成32年度末で撤退することが決まっております。桑名広域清掃事業組合の構成市町で「ごみ処理のあり方調査検討委員会」を立ち上げて、新たな焼却施設を建設・管理運営に関する共同処理事務に加入することとしました。

再質問（一問一答）

次のことについて、どのようなことを指示されましたか。

① 近隣市町に処理依頼したならば1t当たりの処理費用は。

② 町単独事業としての考えは。

③ 建設するとすれば候補地としての検討は。

生活福祉部長 ① 東員町のごみを他市町で処理することは検討していま

せん。

② 広域と比較すると建設費で4億円の負担増、管理費で2千万円の負担増になります。

町長 ③ 設置する場所を求めてそれから手続きとなると一朝一夕にはいかず、時間がかかるため単独では考えにくいという結論になりました。

6地区で行われた町政懇談会で、財政状況や人口推計、税の増加は見込めないとの説明がありました。イオンや周辺企業からの経済効果や、地域の活性化により相当な税

収入になると予想されます。なぜ、マイナス推計がされているのか伺います。

町長 示させていただいている数字には、イオンがオープンしてから入ってくる税収入も含んでいます。

町づくり政策について

イオンモール東員店オープンの交通渋滞が予

再質問（一問一答）

6月定例会で質問しましたが、子ども達の安全を第一に考え、通学にバ



通学に利用できないの

想されます。員弁川にかかる橋詰交差点の多車線化の必要性をどのように考えますか。

町長 イオンオープンによる問題が新たに出てきます。イオンモール調整会議の中で役割分担をしていきます。

ご利用は考えられないですか。西側車庫の町保有バスはどのくらい使用されていますか。

総務部長 町保有のバスですが、年間使用は、各小学校や、町の行事などで使用されますが、20日程度と思います。

再質問（一問一答）

6月定例会で質問しましたが、子ども達の安全を第一に考え、通学にバ

安価な焼却施設を



鷺田昭男

原水は水道料に含まれますか 含まれません



水は大切な資源です

いものは議論に入ること
はできません。

水道管が町の道路など
に埋設されていますが、
腐食や災害などにより修
理や交換が必要となった
時に町はどのような対応
を取りますか。

町長 町として対応し
ます。

場から平均して2万t強
の水が送られています。
これに対して東員町の取
水量は8千tです。四日
市には約3倍の水が送ら
れています。災害は忘れ
た時期にやってくるとい
われています。取水量制
限について約束など交わ
されていますか。

建設部長 今年度中に
方向性を示すことができ
るように協議をします。

保護の調査研究を行い地
下水及び環境保全に取り
組んでいます。

再質問（一問一答）

町内にある四日市水道
の取水場協力金について、
3自治会とは和解という
結果になりました。水は
大切な資源であり、生活
する上には不可欠であり、
子々孫々に至るまで安全
な水を確保すべきと考え
ます。

和解後かなり時間が経
過していますが、この水
問題について何か協議を
しましたか。

副町長 和解条項に基
づき員弁川水系地下水源

協力金の支払い停止の
理由の一つに法的根拠が
ないからだと推測しま
すが、以前は水がタダで無
尽蔵であると言う意識が
あったが、今は水を買う
時代です。町は水資源に
ついて根拠がないから議
論できないのですか。

副町長 法的根拠のな

ます。法的根拠より確実
な根拠の一つであります。
日本の水を外国から権利
や取水目的で、買いに入っ
ていることも事実と思
います。町として水問題に
ついて議論はできません
か。

副町長 水道料金の中
には、水道水の基となる
原水が入っています。
水道施設や水道管、管理
費などが料金の内訳です。

四日市市へは一日当た
り東員町内3カ所の取水



ここからも四日市市へ



島田正彦



オープンが待ち遠しい

イオン無料巡回バスは 運行はできません

イオンモール東員について次のことを伺います。
①高齢者、障がい者お買いもの無料送迎バスの運行はごなりましたか。
②雇用に関して地元採用は何名くらいになりましたか。
③売場の一角に東員町のインフォメーションコーナーの設置を要請されましたか。
④イオンオープンに向けて町の観光にどのように反映されますか。

副町長 ①他市町の事例を出し協議したのですが、高齢者などお買いものに不便な方には、ご自宅へ届ける新たなサービスに方向転換すること理由に実施出来ないとのことです。
②イオンモール東員の募集定員2300人の内3割程度の採用と聞いています。
③正面玄関に設置されるインフォメーションを開放して頂き、パンフ

レットなどのラックやポスター掲示物などの場を確保して頂きます。
④プレーヤーとしては、基本的に商工会・観光協会であり、イベントの開催や特産物の販売などをイオンに働きかけ、積極的に事業を行って頂き、こうしたことを積み重ねることで観光化していくと考えます。

中部公園の有効利用は



公園の活性化を

中部公園の利用について次のことを伺います。

①年間を通じて従来のイベント以外にイベントを企画されてはいかがですか。

②公園を民間による指定管理にされてはいかがですか。いなべ市では来年度、農業公園が指定管理になると聞いています。

③イオンモール開店に合わせて活性化のプランはありますか。

建設部長 ①公園はあくまで散歩など軽運動や河川など自然と触れ合っ

の市町に声を届けて頂くよう期待をしています。

※ほかに子どもマルシェ、若者サポートステーション、リサイクルセンターの質問をしました。

て頂くなどゆっくり利用して頂くもので仮にイベントを開催する場合も公の施設であることを十分理解し、開催して頂く場と考えています。
②コスト削減の手法として念頭に置いています。が、当分の間は町にて管理を行うことが妥当と考えています。

③イオンにお越しのお客様が公園にお立ち寄り頂き、口コミでお住まい



種村博行



もっと利用を

費用対効果の考え方は 経営感覚を磨きます

行政サービス全てを費用対効果で見るのは困難ですが、その事業が費用に対して採算がとれるのか。また、住民にどれだけの利便をもたらすのかを考えることが必要です。どの様な考えかを伺います。

生活福祉部長 厳しい財政状況に置かれているなか、優れた経営感覚を持つことが求められています。多様化する住民ニーズに対応するため、事業

実施について施策の優先順位付けを行い、費用対効果を求めにくいものや、採算性の低いものであっても、住民サービスに欠かせない事業は、受益者負担の可能性も含め、十分検討した上で進めていく必要があると考えています。

再質問（一問一答）

効果を確実なものにするためには、計画した事柄が計画通りに進められ

ているかを確認することが最も大事です。今後、その事業のもつ効果や便益及び効果や便益を出すための方策を予算概要書に記述すること、事業の事後評価の報告を求めます。

副町長 すでに一部でその作業を実施しています。今後、そのようにしていきたいと考えています。

生ゴミ堆肥化について

筑紫（一部穴太）地区から回収実証調査を始めましたが、堆肥化にかかる経費を早く見極めることが必要ですが、どのように考えますか。

生活福祉部長 堆肥化にかかる経費は、回収方法や処理方式により大きく変動することから、より多くの皆様にご協力を頂ける方法を見極める必要があると考えています。今月から筑紫地区の全域と穴太地区の一部の皆様にご協力をお願いして生

ゴミの分別から回収、堆肥化までの一連の流れを検証する「生ゴミ堆肥化実証事業」を開始したところですが、引き続き、笹尾・城山地区についてもご協力をお願いしていきます。

再質問（一問一答）
堆肥化経費の限度額はどのくらいで設定していますか。

生活福祉部長 町内から出る生ゴミを全て堆肥化した場合、桑名広域清掃事業組合に支払っている負担金は年間約5000万円減少し、CO2の削減量は380tと試算しています。基本的には、減少した負担金の範囲内と考えていますが、環境面への利点も考慮して経済的な方法を検討していきます。



環境対策の費用は



上原君代

生活保護基準引き下げの影響は 就学援助は9名認定外です

アベノミクス政策のもとで、格差と貧困が一層広まっています。

生活保護基準引き下げにより、就学援助や国保、保育料の減免など、影響を受ける制度の現状を伺います。また、平成22年度に文部科学省から就学援助の拡大要請が出され、町は実施しませんでした。が、本年の実施予定はいかがですか。

昨年よりも一層暑かった夏で、熱中症が心配さ

れました。料金滞納者に自治体が提供する水道さへ給水停止措置が多くあると聞きます。町の現状を伺います。

生活福祉部長 新基準では3年間で、例えば40代夫婦と子ども2人世帯で16万5671円が1万9930円の減となります。就学援助への影響は、小中で9名が認定外となりますが、今年度は前基準で実施します。来年度以降も認定外が増えると予想されますので、認定基準を緩和する必要があると考えます。平成22年度拡充要請のクラブ活動費、生徒会費についても検討します。

給水停止は給水停止処分取扱基準に基づき、生活状況、家族構成などを考慮し実施しています。

再質問（一問一答）

修学旅行費、特に中学生は2年間多額の積立が必要で、就学援助の上乗せ施策をする自治体もあります。当町でも実施できませんか。

教育長 対象者には全額援助しています。

臨時職員増の意図は

本年度は本庁での臨時雇用が10名と目立ちます。デフレ不況は賃下げや非正規雇用の拡大で多くの国民の所得の減少による需要不足にあります。非正規雇用が貧困と格差の原因として大きな問題になっている中、公が臨時雇用を増やし、その原因を作り出していないものでしょうか。

本庁の臨時職員、保・幼の長時間保育や障がい児加配、正規職員の有給代替など、10年勤めても同額の時給の改善を求めます。



職員の待遇改善

町長 臨時雇用を増やす意図は無く、正規職員の育児休業代替えや、業務繁忙期に対応するための臨時雇用です。

教育長 非常勤の年休代替は時給813円、障がい児加配900円、長時間保育1000円、土曜長時間保育1100円で経験年数での増額を行っています。臨時職員の

待遇改善は課題と認識しています。

※ ほかに道路の維持管理・補修について質問しました。

委員会活動レポート

石川県小松市・かほく市

現地視察日 7月2日・3日

総務建設
常任委員会

イオンとの共生

石川県小松市民防災センター、かほく市役所・イオンモールかほくに行政視察研修を行いました。

1日目は小松市民防災センター内で災害への対応や認識を高める防災訓練など対策と現状の説明を受けました。自主防災組織は、「自立型支援体制」として自覚を促すため救急救命講習を各地で実施し、防災リーダーの育成、防災士・市民救護員との協力、消防団員5人以上が各地域に入って訓練を行うなど取り組んでいます。

災害への日ごろの備えや自助・近助・共助の重要性をもとに皆が助かるための役割分担を明確にしながら地域の現状に合わせた地域防災力を高めています。組織体制としてはよくできていますが、防災への危機管理意識や活動への停滞など地域によって課題もあります。近助という考え方は共感しました。小松市消防本部と消防団が自主防災組織

と連携をして取り組みリーダー育成に積極的でした。防災体験では、地震を3Dシミュレーションの映像を通して見ました。地震の恐怖と揺れのため実際は何もできない現状を実感しました。本町もきめ細かく災害時の対策が求められます。



小松市民防災センター

2日目はかほく市役所において、まちづくりの概要や情勢など説明を受けた後、「イオンモールかほく」へと移動し、イオンモールからは店長、開発担当者から館内の説明を受け視察しました。イオン開発に伴い交通渋滞を予測し道路整備を行い、駐車場設置状況、多くの来客に対して誘導道路の拡幅など取り組んできた現状を視察しました。次に市役所において職員、イオン担当者を交えて質問事項の回答を頂き意見交換をしました。

イオンモール進出計画の時点でワーキング会議の立ち上げ、交通アクセスに十分な対策をしていること。まちづくりに対して地域・警察・行政・イオンと綿密な連携をしていました。何よりも行政側とイオン側と建設にあたっての調整、協議、対応に感銘しました。イオンモール周辺では、道路整備に7億円を投資し、安全確保に取り組み、現在

交通渋滞もなく運行されています。市側の職員の取り組む姿勢や熱心さ、市民に配慮するためにイオン開発はまちづくりのチャンスと捉えています。本町では、交通渋滞など交通対策が課題としてあります。



イオンモールかほく視察

9月10日・11日にシニアカレッジの皆さんが、9月定例会一般質問を傍聴されました。
たくさんの感想を寄せていただきました。（※一部を掲載しました）

傍聴者の声

● 初めて議会の傍聴をさせていただきました。議会での真剣な議論を見学し、町の現状の大変さが分かりました。町民として出来ることは協力しなければいけないと思いました。

● 水問題の和解後の協議は、固定資産見合いの金額を四日市市より受け取っている。その後、種々検討している。法的根拠なきため、四日市市より受け取ることができない。

● 私個人としては、水問題は四日市市との関係はもっと考える必要があると思います。大切な東員町の資源であるからです。飲み水もさることながら、プールの水が四日市市より非常によいとされています。水問題は重視されるべき問題であると思います。四日市市とのしがらみがあるような答弁だと思います。

● イオンモール東員のオープンについての問題は、交通渋滞、駐車場、通学路の質問についての答弁がきちんとされていないように思いました。学校、幼稚園などがあり、毎日のことなので、「ちょっと駐車してもよい」とか「近いから下校時だけ通る」ということがあると思われるので、きちんとした答弁があって欲しいです。

● 町民代表として議員さん方は東員町のため、いろいろと質問されているように思いました。私も初めてこの場に出席させていただき、何もわからず時間が過ぎてしまっただよつです。今日はいいい勉強をさせていただきました。ありがとうございます。

● 東員町に住んで初めて議会を見学する機会を得ましたこと、まず感謝申し上げます。

● 謝申し上げます。生ゴミ堆肥化について、私としても生活する上で大変関心があり、全体の中で一番強く思いました。特に夏は家の中が大変ですから、今のままで週2回として行って欲しいです。

● 本日の見学に際し、日ごろ、心配に思っていることが議論されているので安心しました。今後、も町民のために一層のご活躍を希望致します。

● 議会に出席してみて、問題の多さ、大変さ、それに対する答えの難しさを聞いて、勉強出来たことが良かったと思います。

● 広域事業について、毎日の生活で大切なゴミ問題であり、RDFがなくなるというところで心配しています。でも、桑名での新焼却施設ということは、それでなくて大丈夫なのではないかと感じました。

● 町の方もいろいろ考えてもらっているように安心しています。

● 初めての議会に参加で良い経験となりました。静かな議場でした。質問に対して答弁でもかみ合わない時もあり、この点について、どこも同じ議場風景だと感じました。活気をもった議会にがんばって欲しい。

※内容は原文のまま掲載しました。ありがとうございました。

議会クイズ

問題の答えはすべて議会だよりの中にあります。よく読んで答えてください。

問1 平成24年度歳出決算額は。

問2 平成25年度一般会計補正予算額は。

問3 平成25年9月定例会で一般質問した議員は何人でしょう。

▼応募方法／官製はがきに答え・住所・氏名・年齢・電話番号を記入し、また議会へのご意見、ご感想などありましたら、一緒に記入してお送りください。

▼あて先／〒511-0295 東員町山田一六〇〇番地

東員町議会議務局
▼締切り／平成25年11月22日（当日消印有効）

※正解者の中から抽選で15人の方に図書カードをプレゼントします。

※ご記入いただきました個人情報については、賞品発送及び読者の声などの目的以外には一切使用いたしません。ただし、行政側に対するご意見・質問などの場合は、その内容に依り、担当課から報告または回答をさせていただく場合もあります。

秋の夜に想う

ついこの間まで猛暑が続き、熱中症で病院に搬送される方が後を絶たない状況でしたが、今ではめっきり涼しくなって、秋がぐんと深まったようです。

秋といえば、食欲の秋や読書の秋、スポーツの秋などいろんなことをするには持って来いの季節です。

私には小学1年生と6年生の息子がおり、二人とも地元のスポート少年団で野球に励んでいます。先日、肌寒さを少し感じる夜の我が家の食卓でした。話すことの大半は野球のことで、ひいきのプロ野球チームがふがいない成績で終わってしまい、長男も次男もがっかりの様子。しかし、今度の週末にある自分たちの試合に心はせるようで、本当に野球が好きでたまらないというのが伝わってきます。

スポーツを通じて体と心を養い、仲間を大切に。なによりも明るい兄弟に育ってくれている姿をみて、私は晩酌をしながら、スポーツの秋と食欲の秋の両方をあじわったようで、こころが温かくなった気がした秋の夜でした。

（近藤 敏彦議員）

表紙の写真

神田小学校の運動会風景です。



ガールズスカウトによる非常食試食風景
（東員町防災訓練にて）

次回の定例会は
平成25年12月開会予定です。
傍聴、お待ちしております。

議会広報常任委員会

委員長／南部 武司
副委員長／種村 博行
委員／近藤 治隆・近藤 敏彦
 南部 豊・川瀬 孝代

一般質問は、原則議員提出の原文のままです。

議員の寄附は罰則をもって禁止されており、議員に寄附を求めるとも禁止されています。

また、年賀状など（答礼のための自筆によるものを除く）を出すことも禁止されています。